



# 鉄建 NEWS

令和5年10月31日発行 第347号



を振り返って

## HIT 編

文章: 成田 智裕

平成17年(2005)に入社し18年が経ちました。

入社時は、倉庫(HIT)が出来たばかりで材料も入る前で、トラックも備品関係も全てが新しくとても感動していたのを思い出します。

倉庫内には台木しかなく不安ばかりで、鉄筋・鋼材・外壁と色々な商品が入荷してきて知らないことばかりで圧倒されていました。徐々に教わりながら作業していましたが、当時の構内作業員が退職してしまい先輩と2人体制の時期もあり、荷造りが終わらず、夜パンをかじりながら遅くまでの構内作業などを2人で悩み相談しながら仕事をしていました。

配達作業においては、前職の配達とは全く違う状況の中、どんな場所かもわからず地図帳を見ながら配達先で曲がり場所を間違えたり、加工場ではなく鉄筋会社の社長の自宅に着いてしまうなど毎日毎日。今では考えられないことが、現実に起きていました。

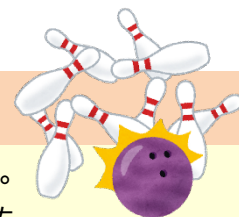
現在では、4人体制で配達先をスマートフォンやパソコンで地図を見て配達場所の状態等を事前に調べられる事で、配達もスムーズにとっても便利な時代になり仕事の効率も昔とは変わり良くなってきます。

構内作業においても状況に応じて都度準備をするなど、新たに入れ代わった作業員と打合せしながら、昔の経験を活かしどんな状況にでも対応できるようHITは全員で力を合わせて頑張っ

これからも成長していきます。



## ボウリング同好会



神 幸博

9月23・24日に『第36回北海道選手権』という大会に出場しました。

今回の大会はダブルス戦で【吉口・竹田】【鈴木・神】のチームで出場しました。

1日目は6ゲーム、2日目は3ゲームの合計9ゲーム投げました。自分たちが最初に一緒に投げたチームの人がいきなり299点を出していて驚きでした。自分たちはその横で110点とか130点とかそんなスコアを出していました(笑)

まず、出てみて思ったことは『選手権大会』という名前の大会は2・3日練習しただけの人が出る大会ではなかったかな！？です(笑)

結果は57チーム中ブービーでした。吉口さんと竹田さんのペアは36位という結果でした(自分たちと比べると素晴らしい結果です)

次回大会に出るときは景品でポテチがもらえる大会に出ようと思います!(前に貰ったので...(笑))

# 入社して 半年

## 経ちました



入社して約半年が経ちました。入社したばかりの時は電話で中々お客様の名前が聞き取れず、在庫を調べるのにも時間が掛かり落ち込むことも多かったのですが、私が困っていると周りの先輩方がすぐに助けに来て色々教えてくれるので自分からたくさん電話を取ろうという気持ちになりました。今では聞き返す回数が減り前よりもスムーズに電話できるようになりました。しかし、まだ鋼材で分からないことが多く、少しでも不安なものはすぐに聞いてしまうので、もっと自分で分かることを増やしていきたい自信をもって仕事をできるようになりたいです。

金属部 村瀬茜音



入社当初から、できることを探し行動している村瀬さんにいつも助けられています(;-;)私自身教える立場になり大変なことはありませんが、それ以上に村瀬さんのおかげで時間に心にも余裕ができました。お話しが上手で覚えも早く、すでに頼もしい存在です。日々一生懸命な姿を見ているので、無理をさせないよう私も一緒に頑張っていきたいです!

金属部 大浦萌子



今年の四月に入社して、半年が経ちました。異業種からの入社という事もあり、覚えること全てが一からでした。神主任をはじめとする構内の方々には、親切丁寧に作業を教えていただきとても仕事のしやすい環境だったと思います。毎日が忙しく、その中でミスなく業務をこなすには当たり前ですが、確認作業を怠らないことが大切だとこの半年を通して感じました。

半年間で自分自身、成長したと感じる部分はコミュニケーション能力だと思います。大丈夫だろう。が会社にとって大きなマイナスの影響を与えることもあるので、周りの人とコミュニケーションを取りながら、ミスのないよう業務をこなすよう半年やってきました。

今月からは、事務作業中心の業務になるので、わからないことは積極的に聞きコミュニケーションを取りながら仕事をしたいと思います。

建材部 田中祐斗



田中君が入社して半年がたちました。入社当初は何もわからない状況でしたがわからないから動かないではなく、わからなくてもとりあえず動くという感じでした。クレーンは使えなかったですが、小物や手で出せる物を率先してだしてあり大変助かりました。

半年という短い期間でしたが中々濃い期間だったと思います。寂しくなりますが、本社へ行って頑張ってください。

鋼材センター 内藤大規

# 弁当屋さんの おもてなし

作・喜多みどり



私がこの本を読み始めたのは、JRで札幌へ行ったときにたまたま持って行った本を行きJRで読み切ってしまう『帰り用に関わらず面白そうな本ないかなあ〜』と札幌の本屋さんに行ったときに『札幌が舞台の本がある!』と手に取ったのがスタートでした。

この本の主となるのは札幌の豊水すすきの近くにある『くま弁』という昔ながらの小さなお弁当屋さんです。そこは願いを叶えてくれる魔法のお弁当があるお店です。

最初は、傷心中の女性が残業帰りにお弁当屋さんでお弁当を買うという日常から始まります。



その日常からなぜ『くま弁』のお弁当が魔法のお弁当と言われるようになったのか、どんな願いを叶えてくれるのか。

主人公や『くま弁』の店主、他のお客さんを巻き込んだ自分にも起きそうな問題?をどう解決していくのか。

ファンタジーやSFのようなワクワクやミステリーやサスペンスのようなハラハラなどはありませんが、自分たちの日常にも潜んでいるような出来事や登場人物の考え方など少しドキドキする内容になっていて気づいたらハマっていました(笑)。



また、登場人物たちの関係性や性格も「あ〜!こんな人いるよね!」と思わせる人たちが多く物語にスッと入り込める一つかもしれません。

この【弁当屋さんのおもてなし】はシリーズ化されていて今は最初の物語から数年後の話も出ています。またマンガやドラマにもなっているので自分の見やすい物から見てみてはどうでしょうか?

ちなみに…私はこの本を読むと必ず『こんなお弁当屋さん、自分の家の近くに欲しいなあ…』とってしまいます(笑)

総務部 竹田智子

## 編集後記

最近、すごく寒い日があったり、暑くて窓を開ける日があったりと寒暖差があるように感じます。季節の変わり目は風邪をひきやすいので体を冷やさないように気を付けようと思いました。

また、最近筋トレをしてみようかな〜と考えているので、挑戦して3日坊主にならないように頑張りたいです!

阿部